

ファイナルファイトCD

【ふぁいなるふぁいとしーでいー】

ジャンル	ベルトアクション
対応機種	メガCD
発売・開発元	セガ・エンタープライゼス
発売日	1993年4月2日
価格	8,800円（税抜）
分類	劣化移植判定
ポイント	SFC版では削られた要素は健在 しかし、操作性、ゲームバランスは大幅悪化

概要

- ▶ 傑作ベルトスクロールアクション『[ファイナルファイト](#)』のメガCD版。発売・開発はセガ。セガからすればメガCDの性能を宣伝したいのとスーファミ版との差別化を図りたかったのだろう（SFC版と違いキャラは3人、2人同時プレイも可能、ステージも全部再現）。
 - ▶ 声優を当てたキャラ全員がミスキャスト。デモ画面では親切に音声でキャラ解説してくれる。
 - ▶ 『好きな食べ物は、鮭茶漬けと冷や奴』
 - ▶ BGMのアレンジも微妙、元がアーケード基板でメガCDに移植するんだから普通にFM音源使えば良かった物を……。
 - ▶ 何より操作性が悪すぎる。パンチが遅すぎて全キャラがハガー化。ついでに斜めに入りやすいメガドラのコントローラーの所為で細かな操作が出来ず、本来のファイナルファイトの魅力を全く再現できていない。
 - ▶ これをやれば、キャラ1人、2人同時プレイ、ステージ1箇所を削ってでも爽快感を重視したスーファミ版がいかにマシか解る。
 - ▶ しかも今ではPS2版『カプコンクラシックコレクション』にてほぼAC完全移植の『ファイナルファイト』がプレイできるわけで…。
- ▶ セガによるカプコンゲームの移植と言えば傑作『[大魔界村](#)』があるのにこの落差は何だ。
 - ▶ 「大容量・高性能のメガCDで出す以上完全移植+ で当然だ!」と力んだ結果がこの様なだろう。
 - ▶ MD版大魔界村は完全移植ではないが、ゲーム性を損なわずに移植しているという意味ではFFCDの対極にあると言えよう。